

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06374	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	Wnt シグナルネットワークの異常によるがん発症の新規分子機構の解明	研究代表者 (所属・職)  (平成31年3月現在)	菊池 章  (大阪大学・大学院医学系研究科・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、癌発症のメカニズムを Wnt/<math>\beta</math>-カテニン経路の異常から解明することを目標としたものである。</p> <p>研究は当初の目標に向けて順調に進展している。これまでに肝芽腫における GREB1 などの新規因子を発見した。また、既に1件の国内特許を取得し、その他6件を国内外で特許出願中であり、一部は論文としても公表されている。</p> <p>今後は組織でのシングルセル解析なども含めて、多様な癌の病態組織における Wnt 経路の異常の解明及びそれを標的とした創薬へのアプローチなどの臨床応用も意識した研究の進展を期待する。</p>	